

ほけんだより

心もからだも元気いっぱい

令和 4年 11月11日
第13号 神石小学校

おうちのかたへ

『新型コロナウイルス感染症』感染拡大防止にともない

感染症対策のご協力をお願いします！

今週、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止にともなって、3日間の臨時休業をおこないました。保護者のみなさまには、お子さんの健康管理にかかわって、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。学校医の鈴木先生より、つぎのことについて、ご指導ご助言をいただきましたので、お伝えいたします。

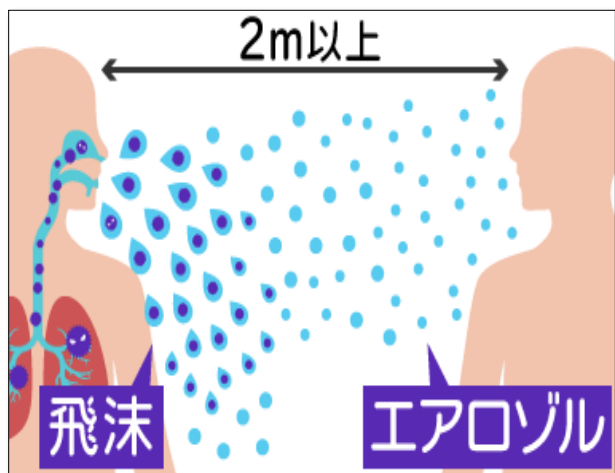
今後も、学校生活にかかわって、ご家庭と十分な連携を図りながら、感染症対策を進めてまいります。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

①換気を十分におこなう

感染経路として、多くは「エアロゾル感染」ではないかと思われます。

エアロゾル感染とは…

飛沫よりも細かい5マイクロメートル（0.005ミリ）未満の粒子がしばらくの間、空気中を漂い、その粒子を吸い込んで感染します。
2メートル以上の離れた距離にまで感染が広がる可能性があります。



エアロゾルは、1回の咳で約700個、1回のくしゃみで約4万個発生し、空中を浮遊するので、直接飛沫を浴びなくても、短距離では吸い込んで感染することがあります。換気が不十分な室内や、混雑した室内に長時間滞在すると、エアロゾル感染が拡大するリスクが発生します。

②ソーシャル・ディスタンス じゃれ合い×

ウイルスが飛沫により飛び距離は、通常2メートルと言われています。そのため、2メートルが「距離エチケット」「ソーシャル・ディスタンス」と言われています。



友だちと手をつなぎたい、肩を組みたい…など、仲良くしたい気持ちはわかります。でも、がまんです。友だちを大切に思うからこそ、距離をとりましょう。きっと心はつながっていますよ。

③必要以上に大きな声を出さない

クラスターは、「大きな声を出す」状況で発生することが多いと言われています。

大声で話す人の口から出る、数千という唾沫の飛沫は、8分から14分間、空気中にとどまってから消滅することが新たな研究で分かったそうです。②のところにもあるように、2メートルの距離がとれない時には大きな声を出さないようにしましょう。



マスクをじょうずに!

場面に応じて、つけたりはずしたりしましょう。

屋内では…距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合をのぞき、マスクをつけましょう。

屋外では…季節を問わず、マスクの着用は原則不要です。

いつ、誰が、どこで、感染するかわかりません。不安を差別につなげることなく、友だちへの思いやりをもった行動をしていきましょう。

おうちのかたへおねがい

先日の「ほけんだより」でも、お願いしましたが、つぎのことについて、ご協力をお願いします。「発熱等の風邪症状」で、学校に欠席のご連絡をいただく際に、つぎのことにご協力ください。

①～④について教えてください！

- ① いつごろから
- ② どんな症状があるか
- ③ どの病院にかかれるか（わかれば教えてください）
- ④ 受診・検査結果（わかり次第、ご連絡ください）

※発熱等の風邪症状がある場合は、まずは電話で、かかりつけ医等にご相談され、その旨を学校までお知らせください。

